



昨年の青い封筒募金キャンペーンより

今回の学校便りのテーマは、グローバル人材を育てるワシントン日本語学校への寄付のお願いです。

1958年に29名の生徒から始まった本校は、今年で創立61周年を迎え、今年生徒数約700名を誇る大規模校になりました。文部科学省より認定された補習授業校で、小・中学部では日本の学習指導要領に準じた教育を行い、さらに一貫教育を実施するために幼稚園と高等部を備えています。

学校便り 63

グローバル人材を育てる 日本語学校への寄付のお願い

ワシントン日本語学校管理運営委員会

財務部長 野崎 仁宏



借用校舎の聖心ストーンリッジ校

日本語で行われる授業を理解できる生徒であれば、国籍・人種等を問わず入学が認められています。

本校の教育目標は、「国際感覚を身に付けた人間性豊かな生徒の育成」です。語学力、主体性・積極性、チャレンジ精神、さらに異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティを併せ持つ人材、言い換えれば「グローバル人材」に育てたいと願い、教育活動を展開しています。

私を含めてですが、我が子には将来、日本とアメリカの架け橋になってほしい、と願っている保護者が数多くいます。本校としてもその一助となるべく活動を行っています。先日は、ANA桜植樹プロジェクトと本校が校舎を借用している聖心ストーンリッジ校との橋渡しをさせて頂いたました。

さらには充実させる必要があります。これを授業料の上昇を抑えつつ行うためには、本校生徒の保護者に加え、当校の活動やその成果にご賛同くださるさまざまな企業、団体、また個人の方からの寄付が重要となります。

本校では毎年、在校家庭を対象として、「青い封筒募金キャンペーン」を行っており、8年目となる今年は、11月16日と23日に実施いたします。昨年のキャンペーンでは、半数以上の世帯が参加し、今年は昨年の実績を上回る参加数が期待されています。できるだけ多くの家庭が参加することにより、地域コミュニティ内での本校への支持が高まり、外部から益々のご支援をいただくことにもつながると考えています。

私を含めてですが、我が子には将来、日本とアメリカの架け橋になってほしい、と願っている保護者が数多くいます。本校としてもその一助となるべく活動を行っています。先日は、ANA桜植樹プロジェクトと本校が校舎を借用している聖心ストーンリッジ校との橋渡しをさせて頂いたました。

11月4日に行われた桜植樹式典には本校を代表して森校長と田寄事務局長が参加いたしました。秋晴れの気持ちで行われた、盛大な素晴らしい式典だったと伺っています。

さて、本校を巡る環境も時と共に大きく変化してきました。以前はほとんどの生徒が駐在員家庭の子女で、帰国を前提とした教育が期待されていたことが、現在では、日本に住んだことやその予定もない生徒が多くなっています。これを受け、保護者が期待する日本語学校での教育内容や目標が多様化しており、この傾向は今後もグローバル化の進展と共に、さらに強まるものと考えられます。

寄付はワシントン日本語学校事務局へ小切手を送付 (Washington Japanese Language School, P.O. Box 71, Garrett Park, MD 20896) していただくか、当校ホームページの寄付概要 サイト (https://www.wjso.org/swing-to-wjls) からクレジットカード及びペイパルにて、手続きが可能です。皆様の暖かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

今、日本でこれを書いている。本年2回目となる今回の訪日には、いつもとは違う目的と楽しみがある。

2か月ほど前、突然、遠い昔の中学時代の友人からEメールを受け取った。私は、中学3年の途中で関西の某私立男子校に通っていたが、父の急な転勤命令の関係で、余すところ半年弱、しかも高校入試直前に、東京の区立中学校に転校することとなった。先のメールは、その僅かな期間学舎を共にした同級生からのものであった。

あれから56年になるが、クラス会は紆余曲折を経ながらも、今もなお毎年開かれていたとのこと。ここ数年、私の消息を尋ねてくれたり、SNSで流される私の説教ビデオを発見。そこから辿って今回の連絡に至った。正式なクラス会は、私の帰米直前11月末東京で持たれるが、その前に、先日「ミニ・クラス会」として一部のメンバーが京都に集まり私もそこに参加。「旧交を温めるとはこのことか!」を思わせるじつに感慨深いひと時であった。

思えば「3年H組」と呼ばれたこのクラスは実にすばらしいクラスであった。クラスには、当時東大合格率で全国トップを争う高校

西郷牧師の世相を斬る 31

西郷純一牧師

現在の「いじめ」とは

を狙ういわゆる優等生たち、父親が有名大企業に勤める裕福な家庭から来る生徒たち、他方、「家庭学園」と呼ばれる養護園から来ている、貧しく、学業的にも困難を覚えている生徒たち、と色々な生徒がいた。しかし、よそ者として入ってきた私を感じたことは、そこにあった何とも言えないコララッシュ仲間意識であり、まさに「ワン・チーム」であった。互いが寄りあつていた。だから、本来なら転校生として、それこそいじめの対象になつてもおかしくない私もすぐに皆の一員として溶け込むことができた。

当時受験直前ではあつたが、私たちがはしゃばり一緒に行動した。今のようにサッカーが人気スポーツになる前であつたが、男子は皆で早朝授業前に汗を流して興じた。後で聞いたことであるが、勉強に困難を覚えている生徒に、優秀な生徒が、時にはその母親までが、援助の手を差し伸べていたと言ふ。私たちは、その京都での宴席で「いじめ」の影さえなかつた当時の恵まれた中学生生活を懐懐、感謝した。

「いじめ」が、現代特有な社会問題になつてから久しい。様々な対策も試みられてきたが、収束どころか、愈々その深刻化を増している。確かに、いじめは昔からあつた。私も、小学4年生になると、同じく父の転勤で東京の私立小から関西の公立校に移つた。あらゆることが違つていた。そこにいよいよ「いじめ」の子がいた。朝礼で立っていること、近づいて来ていきなりみぞおちを息が止まるほど膝蹴りされたことが数回あつた。

しかし、今と昔のいじめは、何が大きく違つている。現代のいじめは、もはや「あの子が悪い」「この子が悪い」という当事者個々の問題を超越している。いじめを殊更に経験しなかつた上述の「3年H組」が、特別に善人・人格者の集まりであつたわけではない。大きく変わったのは、子供たちを囲む社会である。

いじめをする子どもの親たち、教師たち、周囲の大人たちが形成する社会が変わつたのである。ますます激化する「格差」の中で生き抜こう、生き残らんとする社会には、人を思いやる余裕がない。世界の国々も「自国第一主義」を当然のこととして叫ぶ。皆、自分のこと一杯、ギリギリのところまで戦つている。しかも、その戦いは、SNS、AIというテクノロジーの進歩の中でますます非人間化し、「生身」での生活・人生感覚を失つている。「いじめ」はその歪みとストレスの「膿」だと言えぬ。

聖書は言う。「末の世に、多くの人の愛が冷たくなる」と。いじめ問題のためには、子どもたちを囲む社会が、その価値観と実践において、互いに思いやり、ワンチームとなる愛を回復することが急務である。



西郷純一牧師

英語 De 敬語 岡崎詩織

④感謝の気持ちの伝え方

秋もすっかり深まり、サンクスギビング(感謝祭)が近づいてきました。感謝の気持ちを誰かに伝える機会は年間を通じて多いと思いますが、特にこの季節は、実り豊かな食材と、それを共に楽しむ家族や友人に対する感謝の気持ちを再確認する時期です。そこで今回は、お礼の述べ方に焦点を当てます。

まず、丁寧かつ柔軟な appreciate は、様々な場で使えます。We extend our sincere appreciation to all sponsors of this program. など、「深く御礼申し上げます」に相当する形に

することもできれば、口語的な言葉と組み合わせ、I really appreciate your help. など、同僚へのお礼の一言にすることもできます。

個人的な感謝の気持ちがこもった grateful は、形容詞として We are so grateful for the opportunity to work with you.、名詞として I'd like to express my gratitude to everyone who helped edit my book. といった表現に使えます。Appreciate とともに依頼にも応用でき、We would appreciate it if you could fill out our survey. や I would be grateful for any feedback. などとすることもできます。

日頃からお世話になっている人へのおき言葉として、thankful もあります。I am thankful to have met a wonderful mentor like you. といった風に、人間関係などの深く長期的な内容に関し、真摯な感情を表現したいときに使えます。

感謝の気持ちを伝えるとき、相手のおかげで何が変わったかを明確にすると、さらに効果的です。Thanks to your tutoring, my grades

improved significantly. や Because of you, I was able to adapt immediately to my new workplace. などと言えます。文法を少し変え Your generous donation enabled me to attend the college of my dreams. などとすることもできます。

Thank you も、文章を閉じるときにいろいろな形で使えます。おそらく了承を得られるであろう小さな依頼は、Thank you in advance. で終わられます。相手を待たせているときは、遅れている理由や謝罪とともに Thank you for your patience. と書きます。求職の手紙は、候補者として検討してもらうことへの感謝を込めて、Thank you for your consideration. という一文で閉じることが多いです。了承を得られるか分からない大きな依頼は、「ご検討のほど、よろしくご依頼致します」に相当する、Thank you for considering this request. で終わられます。

サンクスギビングでは、街が嘘のように静かになり、単身で来ている人や引越して来たばかりの人には、晩秋の冷たい風が余計に

身にしみるかもしれません。そんなとき、友人や同僚のお宅に招いてもらうと、最初は緊張して輪に入りにくかったとしても、何時間もかけて作られたおいしい手料理などを囲み、米国ならではの伝統を楽しめることが本当にありがたく、身も心も温かくなるものです。そういった機会にこそ、後でお礼のメッセージを綴ってみてはいかがでしょうか。

■ 岡崎詩織

国務省を含む様々なクライアントを持つ通訳者(逐次・同時通訳)。シアトルで生まれ、ホノルルと東京で育つ。在米・在英日本大使館で勤めたほか、国連開発計画コソボ事務所と国連事務局でインターンを経験、2013年より米日カウンセルで勤務。ダートマス大学で修士号、コロンビア大学の国際公共政策大学院とジャーナリズム大学院で修士号を取得。ブログ「tabula sarasara」更新中。

